

認定こども園ひまわり幼稚園 令和8年度 重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ 実施段階)

幼 稚 園 運 営 計 画						評価(3月)	
運営方針		「知・徳・体・意」の精神のもと、文化の向上・世界の平和に貢献する人を育てる。					
昨年度の成果と課題		本 年 度 重 点 目 標		具 体 的 目 標			
令和7年度から認定こども園移行、新園舎完成、創立70周年記念式典と大きな行事があった。10月から給食も自園給食になったが、課題も多く、月1回の給食会議で共有し、改善につなげる。認定こども園になり、シフト制勤務なため、全職員での報連相の徹底が必要不可欠である。また職員研修実施や職員会議開催日時についても検討課題である。		基本的生活習慣の確立と健康な身体づくりを推進する。		ひまわり幼稚園の建学の精神を理解し、感謝の気持ちと気持ちのよい挨拶ができる子どもを育てる。			
				戸外遊びや季節に応じた活動を通して暑熱順化・寒冷順化を図り、丈夫で健康な身体づくりを推進する。			
		遊びを中心とした学びと多様な体験活動の充実を図る。		教育活動に物語性を持たせ、年間テーマ「音」を設定し、本物に触れる体験活動を通して感性や探究心を育てる。			
				学園内交流や地域との交流の機会を設け、多様な人との関わりの中で社会性や協働性を育む。			
		一人ひとりの個性を尊重したインクルーシブ教育を推進する。		「こどもまんなか」の視点に立ち、一人ひとりの個性や発達段階を大切にした保育を実践する。			
				子ども主体の遊びを通して、遊ぶ楽しさや創造する喜びを共に学び合い、認め合う関係づくりを進める。			
		本園の魅力を発信し、地域から選ばれる園づくりを推進する。		特色ある教育内容を充実させて「ひまわり幼稚園でなければならない理由を作る戦略」を展開する。			
				充実した教育内容や保育環境を積極的に発信し、本園の魅力を地域に広く伝える。			
	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策			評価(3月)		次年度の主な課題
健康・安全の指導	健全な心身の育成	感染予防を徹底し、手洗い・換気・健康観察を毎日実施するとともに、週3回程度のマラソン活動を行い健康な身体づくりを行う。					
		年少フラフープ、年中縄跳び20回、年長縄跳び50回・竹馬10mを目標に、週3回以上の運動活動を通して基礎体力の向上を図る。					
	安心・安全で活動しやすい環境整備	モンテッソーリ教育環境を徐々に整備しながら、週3回以上の教具活動を行い五感を育む保育を実践する。					
		防災・防犯意識を高めるため、月1回以上の防災訓練（年間12回以上）を実施する。					
社会性・人間関係の育成	基本的生活習慣の定着	各学年および個人に応じた生活目標（排泄・食事・衣服の着脱・睡眠）を設定し、年度末までに80%以上の自立を目指す。					
		時間を守る、物を大切にする、挨拶や返事をするなどの基本的生活習慣について、毎日の生活指導と月1回の振り返りを行う。					
	望ましい人間関係の育成	最後までやり抜く力、協働する力、自己調整力などの非認知能力を育成するため、月1回以上の協働活動を実施する。					
		縦割りの活動を学期1回以上（年間3回以上）実施し、思いやりや助け合いの心を育てる。					
ことば感覚・表現力の育成	豊かなことば感覚の育成	絵本や物語の読み聞かせを毎日実施し、年間200冊以上の物語に親しむ。					
		英語活動を週1回以上行い、年長50語・年中40語・年少30語の英単語に親しむ。					
	感性豊かな表現力の育成	農業体験、伝統行事などの体験活動を年間10回以上実施し、幼児版STEAM教育につながる探究活動を年間10回以上実施する。					
		季節の歌を月2曲（年間24曲）楽しみ、学期1回以上の音楽発表の機会を設ける。					
その他	教育環境の改善と職員研修の充実	幼小中の交流活動を年間3回以上実施するとともに、卒園児の小学校入学後の様子を年1回調査し教育改善に活用する。					
		保護者・教職員セミナーの参加者20名以上を目標とし、保護者参加型のファミリープログラムを年間5回以上実施する。					
	園の魅力を発信する広報活動の充実	ホームページやSNSを活用し、週1回以上の情報発信（年間50回以上）を行う。					
		体験入園300名、SNSフォロワー500名、園児150名を目標、結果的に生活アンケートの保護者満足度100%にする。					